

ようこそ、食べ物が生まれる国へ



ドキュメンタリー映画
百姓の
声の

第38回
農業ジャーナリスト賞
受賞

制作・著作・配給：プロダクション・エイシア
制作協力：一般社団法人 農山漁村文化協会
2022年 | 日本 | 130分 | カラー | DCP

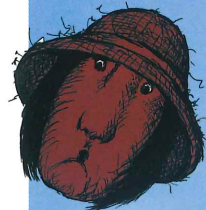
柴田昌平 監督作品

助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(映画創造活動支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

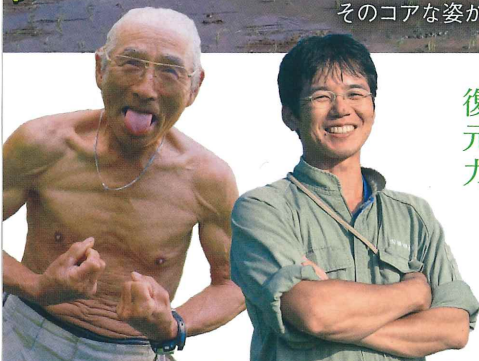
食べている限り、誰の隣にも「農」はある
 なのにどうして
 これほど「農」の世界は
 私たちから遠いのか

「百姓」とは、
 何でも自分でできる人
 という意味で
 農家にとっては
 誇りに思う言葉です

和食を撮って世界を魅了した『千年の一滴 だししょうゆ』の
 柴田昌平監督が、食の原点である農と向き合った。
 全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を
 美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。
 田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか
 ビニールハウスの中で何を考えているのか。
 多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの
 そのコアな姿が、鮮やかに浮かび上がる。

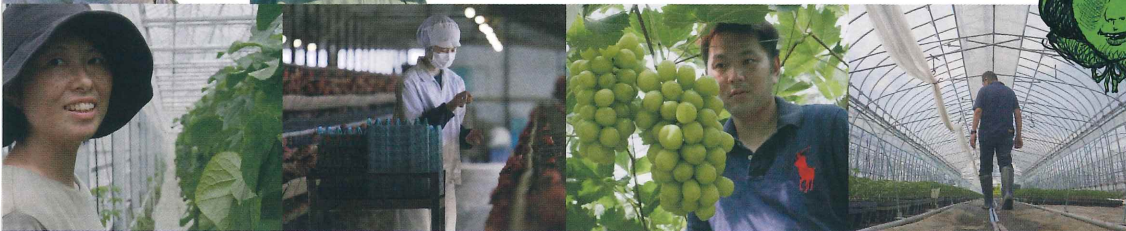


「耕す人々」の世界の入り口が、ここにある



復元力
 立ち上がる
 転んでは
 そして前を向く
 みんなつまづく

今後、経済が下向き
 食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で
 いま必要とされる力は、レジリエンシー：復元力。
 百姓たちには本来これが備わっている。
 映画に登場する百姓たちは
 小手先では解決しないさまざまな矛盾を
 独自の工夫で克服していく。



柴田監督の開かれた知と情熱は、個々のお百姓さんに蓄えられてきた
 膨大な叡智にアクセスすることを試みた。

「批判」「対立構造」「問題解決」という安易な提示に慣れきっている私たちに
 この世界は、もっともっと複雑で奥深く

それを理解し創意工夫するお百姓さんの喜びや面白さを伝える。

日本の農業の厳しい現状を想像しつつも

ひとりひとりの姿を見ていたら力が湧いてきた。 額綱あや(映画監督)

百姓の
 声の

www.100sho.info

制作・配給 プロダクション・エイシア

Tel 042-497-6975

Mail info@asia-documentary.com



監督：柴田昌平 プロデューサー：大兼久由美 出演：日本全国の農家 語り：3人の農家の女性と監督
 監修：百合田敬依子 撮影：柴田昌平・大兼久由美 音楽：Dan Parry・甘茶 編集：高橋慶太 音声：柳田敬太
 題字：財前謙 メインビジュアル：阿部結 カラーグレーディング：堀井威久磨 制作デスク：宮川尚子
 制作協力：農文協(一般社団法人 農山漁村文化協会) 制作・著作：プロダクション・エイシア

ドキュメンタリー映画「百姓の百の声」上映会

日時：令和7年2月9日(日) 13:30~15:40

会場：紀宝はぐくみの森 2階活性化ホール

<お申し込み・お問い合わせ先> 紀宝町立図書館 TEL0735-32-4646

参加無料

申込先着順50名
 (お電話でどうぞ)

野菜作り裏ワザ講座

10:30~11:30

講師：農文協スタッフ
 会場&申込：左記の通り